

第3会場●4F 視聴覚室

■司 会／上野 敦子 井関にこにこクラブ 主任支援員
阿知須地域協育ネット 地域学校協働活動推進員
谷口 善郎 鹿児島県南九州市教育委員会社会教育課 参事兼社会教育係長

分科会の進め方

13:45~13:50

1 歴史遺産を活かした地域づくり ～天正遣欧使節出生の地から～

13:50~14:20

岸本 徹也(長崎県西海市) 西海市郷土史研究会 事務局長

長崎県西海市西海町の中浦地区は、天正遣欧使節中浦ジュリアンの出生地とされている。長崎県指定史跡となるまで地元では中浦ジュリアンについて知る者はいなかった。今では中浦に顕彰碑や記念公園が完成し、講演会等の各種行事が開催されて広く紹介されるようになったが、多くの課題も抱えている。

活動を支えているのは、西海ガイドの会、西海市郷土史研究会、中浦公民館である。ジュリアンを顕彰し語り継いでいくための活動の現状を報告する。

2 自然と歴史の学びの郷整備・活動 ～再生・維持から創造へ～

14:30~15:00

柴田 俊彦(山口県下関市豊田町) 檜原ゆうあい会 事務局長

定年帰郷以来15年間取組んでいる地域づくりの実践発表。どのような理念・思いで中山間地の課題に向き合い、どのような手順・手法で取組んできたかが、この発表のポイント。

「プランナー養成講座」受講 － 「定年・帰郷」 － 「地域づくり団体『檜原ゆうあい会』の立上げ」 － 「学びの郷づくり5ヵ年計画」の推進 － 地域の持続に向けて地域資源の再生、維持からの創造へ。今後の地域づくりの展望も楽しみである。

ティータイム

15:00~15:30

3 ロケットと共に ～宇宙にいちばん近いまち南種子町の取組～

15:30~16:00

茅切 正俊(鹿児島県南種子町) 南種子町教育委員会社会教育課 社会教育主事

南種子町では、①「宇宙や科学を身近に感じ興味をもつ子どもたちを育てる」、②「子ども会会員や子ども会育成者が伝統の正月行事である凧作り・凧あげを通して交流を図り、地域・家庭・学校の連携を深める」ことを目的に、2つの事業を実施している。

2018(平成30)年には、スペースアカデミー(人工衛星の実物見学など)が事業化され、凧あげ大会は28回目を迎えた。宇宙開発関連企業(JAXA、三菱重工MILSET)や星空に詳しい地元住民、各社会教育関係団体が協働している。成果としては、子どもたちの大きな感動や高い事業評価、子ども会活動の充実につながっている。今後は、親子参加型プログラムの導入や、大人のさらなる参加協力を呼び掛けていきたいと考えている。